

H4エリアタンクの漏えいに係る土壌中のストロンチウムの 流下抑制対策工事の完了について

< 参考資料 >
平成26年9月11日
東京電力株式会社

- ・ H4エリア漏えい水に対する**予防的・重層的対策**として、ストロンチウム流下を可能な限り抑制するため、漏えいエリア下流側（海側）に改良材（アパタイト、ゼオライト）による土壌改良を6月30日より実施してきた。
- ・ このたび、本日（夜間）までに改良材による土壌改良工事が完了する予定。
- ・ 今後、既存の観測孔によりモニタリングを行っていく。

【現場施工状況】

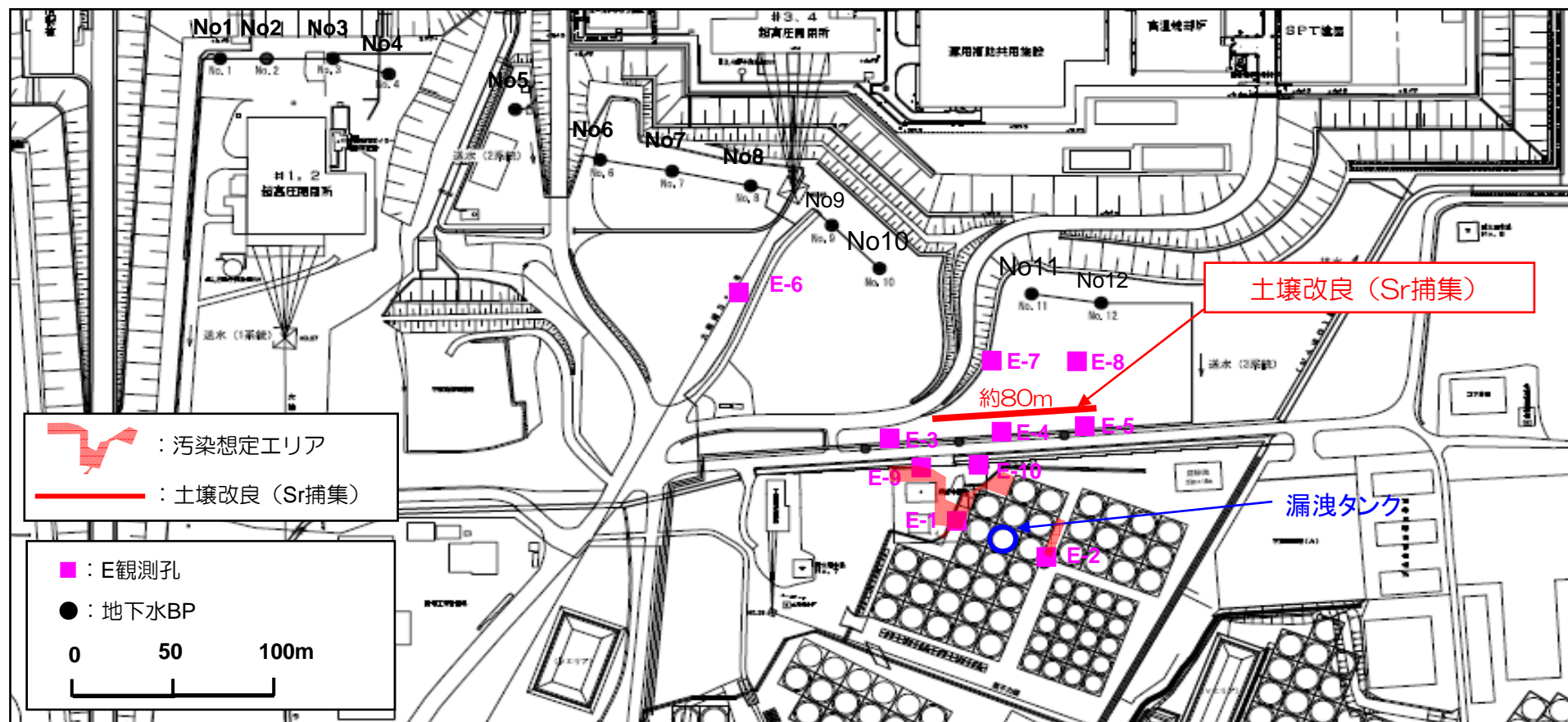


撮影日：平成26年9月10日

提供：東京電力株式会社

対策レイアウト

- ・H4エリア東側に改良材（アパタイト+ゼオライト+砕石）による土壌改良を実施し、ストロンチウムの固定化および流下の抑制を図る。
- ・対策位置は、漏えい水流下範囲等を踏まえた位置とする。

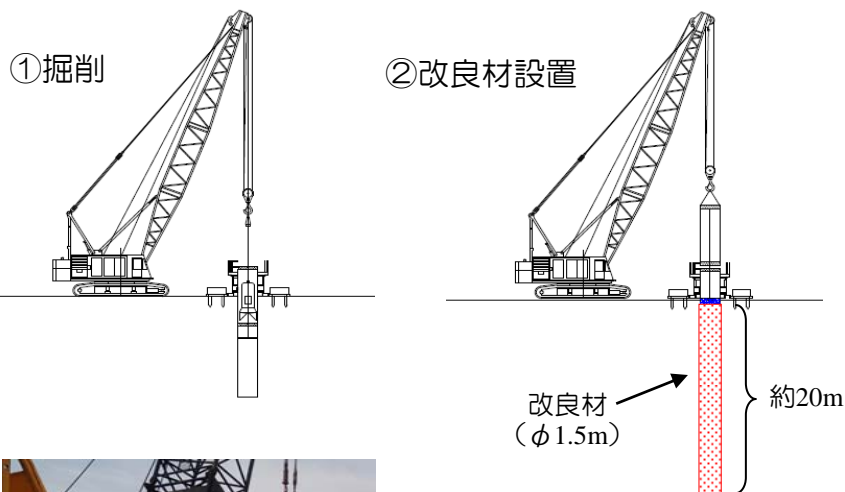


【対策位置】

工事概要

- ・ 土壤改良方法：全周回掘削機による掘削後，改良材（アパタイト+ゼオライト+碎石）※を設置。
- ・ 改良材寸法：直径1.5m，深さ約20m，千鳥配置（施工性，地下水流線を考慮）。
- ・ 対策範囲：約80m

※（重量比）碎石：アパタイト：ゼオライト＝100：5：30

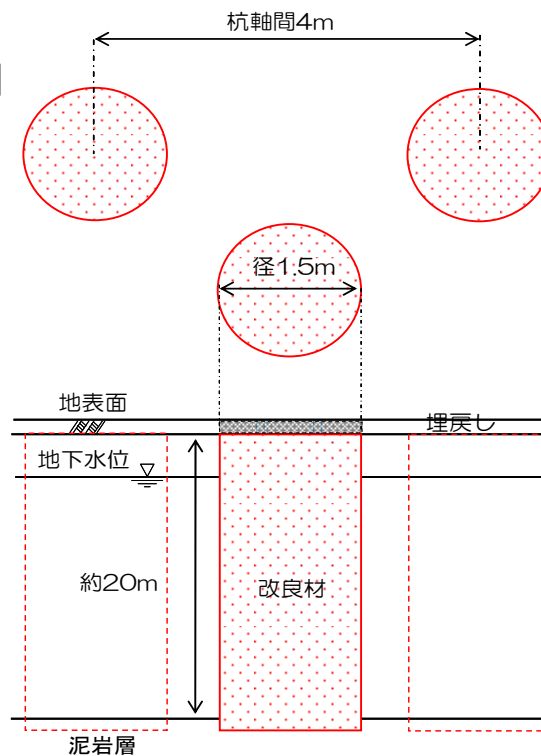


掘削状況

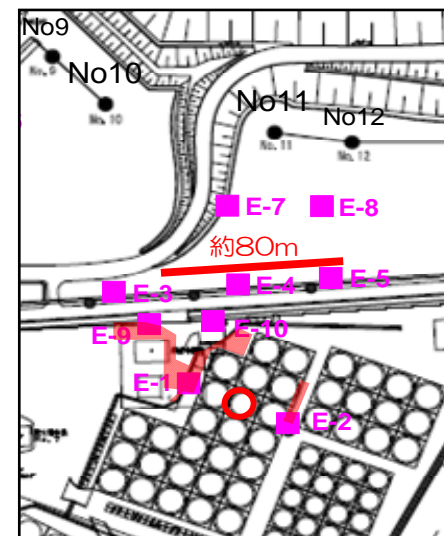


改良材

[平面図]



【断面図】



【対策範囲】

【施工方法（全周回掘削）】